

2020年度 年末手当回答＋追加支給要求シリーズ⑮

東日本ユニオン 中央本部

これが現場社員の声だ！

- 2.2ヶ月ではこれまでの苦勞が報われない。コロナ禍で通常業務、感染不安の中で働いた。夏もJR東海、JR西日本が出すもの出して、JR東日本だけ出し渋り。納得いかない。社員を大切にしてください。こんなで「変革 2027 頼む！」なんてよく言えるよ。
- 安易な妥協はない！最後までガンバロウ！！
- 会社のイエスマンには絶対ならない！イエスマンだけの会社は崩壊する。会社よ！2.2ヶ月では家計は成り立たないって。会社の今後はもちろん考えなければならぬが、働く社員や家族の将来も考えて！会社なくして社員は育たないけど、社員なくして会社も育たないでしょ～
会社には儲けてきたころのお金はまだあるはずです！
- コロナ感染のリスクと隣りあわせで、普段以上に気を使いながら業務をしてきたのにも関わらず、この低額回答。一般的に見れば赤字だからということもあるかもしれないが、それでも会社は満額払える体力はあると交渉で明言している！経営に影響を及ぼすわけではなく払える体力があるのに、奮闘した社員に満額で「コロナの中本当にお疲れさまでした。今後もさらに頑張りましょう」と応えられないことに、モチベーションが上がらない！JR東海の2.2ヶ月を見て、同業他社の動向を伺ってから出したようにも感じる。
一方で赤字の中、思ったより出たと感じてる人もいるのも事実。それで満足している人が多ければ、会社だって出そうなんて思わない。満足してるんだから。「足りないぞ！」という声を上げる人を増やしていくしかない。だから組織拡大が必要。みんなでやる。自分の労働力を安く売らない。そういう意識を職場の運動で広め、さらに組織を強くし、満額勝ち取れる組織へ！
- エルダー社員とはいえ、同じ仲間、組合員と最後まで共に闘う！2.2ヶ月は少なすぎる！必ず追加の0.8ヶ月を勝ちとろう！
- 追加支給の申し入れを応援します。私たちJR東日本で働く者たちの多くが2.2ヶ月という数字には物足りなさを感じているということを経営側に伝えてください。コロナ禍で会社が赤字なのは分かっています。しかし、私たちはボーナスをあてにして生活しているんだ。この気持ちを集めて代弁してくれるこの組合にいて良かったと思います。